

---

# チートなウイルスに侵されました！

狗寂

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

チートなウイルスに侵されました！

### 【Zコード】

N7091Y

### 【作者名】

狗寂

### 【あらすじ】

ある日、普通の女子学生が朝起きたら体が人外に…背中に羽根生えてるは下半身が龍っぽいし！つーか全身可笑しくね！？なチートウイルスに適応し過ぎてしまつた普通な主人公、漓優<sup>りゆう</sup>の非日常な現代ファンタジー？物語です。

19XX年。突如小さな小惑星が地球に追突した。

小惑星は地球に追突する前に摩擦熱で表面が削り取られその欠片が世界に降り注いだ。

幸いにも摩擦熱で少し小さくなつた小惑星は砂漠に落ちて死人は出なかつた。

しかし、小惑星を調べた結果。世界は混乱に陥つた。

小惑星には初めて発見されたある異物ウイルスのようなモノが検出された。

その異物ウイルスは遺伝子影響を与えると外見が変わると同時に非科学な現象を起こした。

ある者は金髪が赤毛に変わり手から火を出した。

また、ある者は耳が兎の様に変わり兎の如く瞬発力や聴力などが上がつた

などその時の遺伝子科学者達などが思わず書類を地面に叩き捨てるなど世界の常識を覆す事態が起きた。

しかし、この異物ウイルスはすべての人間にそういう異常をきたす訳では無かつた。

科学者達は遺伝子などの適合率でなつたのではと言つが原因はまだ不明である。

しかもこの異物ウイルスは突如に遺伝子に異常をきたすので症状が現れるのはいつ現れるかわからないのである

この異物ウイルスはその効果性などの理由で『<sup>「G.T.」</sup>トランクス

と名付けられ

た。  
現在、20XX年。G.T.によって非科学的な能力を持つた人間（デイオテスターと呼ぶ）は世界でも百もいなため世界はディオテスターを求め合ひよつになつた。

## 第1話（え？なに「ムヘ」）

朝早く起きた。今日はやけに寝苦しく早く起きてしまった。  
なんか背中重いし足も重い。あ、頭も重いやえ？風邪？マジでか。  
よし、熱が出てたら学校休もう。

取り敢えず体温計を探しに体を起こして・・・・ん？

あれ？なんで羽根が散らばってんだ？

あれ？この白い長い髪みたいのはなんだ？

あれ？あれ？

「・・・」

下半身にあつた布団を退かして見たら

「おー、龍見たい」

自分の見慣れてる足はなく代わりにまるで東洋の龍見たいな足に尻尾が

・・・・つて

「はあああああああー————！？」（驚愕）

「貴女はディオテスターになりました！」

「え？」

「しかも、性転換し姿も別人。ここまで異常反応は例を見ません！」

取り敢えずパニックになりながらも家族を起こし（吃驚されて泡吹いたが）

病院に連れてつもらつたがウチの姿を見るやいなや病院が連絡いれたらしい別の病院の人たちに連れられ（強制連行だろ！）

大きな病院に着くや否や様々な検査をされ、原因が医師に告げられ冒頭にもどる。

「で、ディオテスターってあれですよね人間ビックリショードですよ  
ね？」

「人間ビックリショード知りませんが世界の宝とも名高いディオテ  
スターですね」

「あらまあ

取り敢えずどんな能力をもつているのか実く・・・検査しましきう。  
とかなり嫌な予感を感じながら母親に脅され強制的に検査を受けた  
(今絶対に実験つて言おつとしだらあのヤブ医者ー)

つーかママン！何普通にヤブ医者と会話してるので！  
ついさっきまであんなにウチの体見て顔青ざめてたのに！切り替え  
早くね！

・・・ つて、おい！今剣山つて聞こえたけど！  
剣山つてあれだろ？花をぶつ刺すのに使うやつだろ？  
何するきだよアンタ等は！（汗）

なあ、自分で生きて帰れるの！？

おもいつきり死亡「プラグに突っ込んでる氣がするのはウチだけなの？  
なあ！（泣）

## 第2話（能力とか諸々の説明です！）

・・・・えーと、あれから検査と言つなの実験&amp;拷問を1ヶ月やつた結果（よく1ヶ月生きて帰れたな（泣））

ウチの能力は他のデイオテスターと違い複数あることがわかりました。

ウチ以外のデイオテスターは一人に一つの能力がついているらしいのですが

（例）

赤毛の人は火を使う能力で火を操る事しか出来ない  
兎耳の人は兎の特性、耳の聴力や脚力などしか使えないなど一つの能力しか使えないらしいです。

ウチは水も操れるし氷を生み出すし風も操れるし火も無論使えます  
他にも水を浄化、植物の急成長等々

・・・・あーまだまだ沢山あるけどヤブ医者曰く、無限の可能性を秘めた能力というなんとも自分の能力ながらチート過ぎると呆れるほど最強的な能力でした。

前半はその能力ゆえに皆パニクつて

死人が出るんじゃあ。とかめっちゃ思いました。

後半からはまあ・・・うん最悪だけどあのヤブ医者のお陰で能力はあらかた1ヶ月以内でマスターしつつある。  
(がつ、また新しい能力も見つかっているのであまり関係ない)

あ、それとウチの下半身が龍見たいになつてているけど一様人の足にもなれる事が判明しました。

ただし、その場合能力のコントロールが不安定になるので基本的下半身は龍のままで。

なんか蛇女の進化版だなとか家族に囁かれたがあえてそこはスルーした。まあ、この姿を見て嫌悪感を出さないでくれたのが幸いだし。（いや、別にもうツツコミ入れるの面倒でスルーしようとか思つてませんから！）

顔は平凡顔から一気に美少女にランクアップしたし  
・・・・ん？性転換したから美少年か？

まあ髪が茶色から白に変わつて肩ぐらいにあつた長さが地面に着くぐらいに伸びて、一瞬「え？平安？」と、一人虚しくツツコミをいれたりしていた。

まあ、綺麗になるのは嬉しいよ

・・・うん、例え男になろうが人外になろうが

・・・うん、嬉しい・・・はず（汗）

### 第3話（お仕事しおじゅう）（前書き）

こんな駄目文にお氣に入り登録誠にありがとうございます。まわいへい！

！？

これからもがんばります！

### 第3話（お仕事しまじゅう）

さて、前回は能力の紹介をしたのですが  
次はその能力を生かしたウチの新しいアルバイトをご紹めし介しましょ  
う！

「ディオテスターはその能力を駆使して國の為に働く（給料がアルバ  
イト並みに安い）というのが世間の評価ですが・・・  
ぶつちやけた話、自國（俺等）の為に働くねえと酷い目に会わせる  
ぞ？」  
と言ひ政府の脅しである。

・・・・が、タダ働き（安月給）で働くなんてウチが許さない  
しかも、ウチの能力を知つてからと言つのも無理難題を次々と糞偉  
そうな態度で命令するもんだから  
元々短期なウチはぶちギレて「テメエ等見てえなクズ野郎に何で命  
令されなきやならねえんだよ！しかも給料安過ぎだろ！上げねえと  
テメエ等のマイホームにメテオぶつけるぞゴラア！」（怒）

と、暴れた結果高月給でのアルバイト（政府の依頼）を受ける事に  
なりました！  
いや～、キレた甲斐があつたよ！（安月給なんて考えられねえ！）

まあ、依頼は瘦せこけた森の森林化（木の苗から大木にしたり）ゴミ処理場のゴミを別の物にしたり（ゴミ山を腐葉土の山に変更）工場で出る汚染水を透明度高い水に浄化したり（勿論飲めます）

基本は環境改善の為に能力を使い続けた。

そしたら金が貯まる貯まる（笑）

取り敢えずその貯まつた金を家族に渡し（自分のはちやっかりキープ）

また依頼を受けて金を貯める 貯金がふえる 家庭が裕福になる旨いもんくえる 自分大満足！気分がよくなり依頼をする気になる依頼を受ける

という、自己満足ループなので案外いいアルバイトである。

ついでに自分の能力の実験も出来るしまさに一石二鳥だ。（コントロールも前より良くなりつつある・・・と思つ）

まだディオテスターになつて間もないのに世間ではウチの事を高く評価しているからそのうち外国の依頼も来るかも知れないらしい

・・・・うわあ、超めんどくせえ（超嫌な顔）

まあ、能力のコントロールをあらかたマスターしたら学校に行く許可がもらえるのと云つことで、まあ、それまで依頼（と云つ名の実験）をやりまくるか。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7091y/>

---

チートなウイルスに侵されました！

2011年11月26日22時53分発行